



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月30日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,255	1.5	8	△81.6	15	△69.6	3	△87.4
2019年3月期第1四半期	4,192	△1.6	43	11.0	50	6.2	28	△1.5

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.70	—
2019年3月期第1四半期	13.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,869	4,458	30.0
2019年3月期	14,557	4,502	30.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,458百万円 2019年3月期 4,502百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	4.8	120	0.9	120	△1.9	70	△0.7	33.43
通期	18,000	3.4	200	97.8	200	89.5	100	468.7	47.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,103,948株	2019年3月期	2,103,948株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	9,950株	2019年3月期	9,945株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	2,093,998株	2019年3月期1Q	2,094,071株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国の経済環境は、堅調な企業業績や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しましたが、先行きの不透明感による景気後退への不安もあり個人消費は力強さを欠く状況となりました。北海道の経済環境は、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震による経済的ダメージからの復興により緩やかな持ち直しの動きがみられました。当業界におきましては、お客様の節約志向は依然として高く、販売競争の激化、人手不足に伴う労働コストや物流コストの上昇に加え、原材料価格・エネルギーコスト上昇の影響もあり、収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品の品質向上を推進し、消費者キャンペーンを活用して売上向上に努めるとともに、多様化するお客様のニーズを捉えた安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務の見直しや効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、主力の「絹艶」及び北海道産小麦を使用した「絹艶北海道」は、積極的な拡販に努め好調に推移しましたが、昨年発売した「プレミアムデニッシュ」シリーズが伸び悩み、売上減となりました。菓子パン部門は、主力の「北の国のベーカリー」、「ずっしり」シリーズが順調に伸長したことに加えて、リニューアルした「ラブラブサンド」が回復し、またフィリングたっぷりの新こっぺぱんシリーズ「ずっしりこっぺ」の寄与もあり、売上は前年同期を上回りました。和菓子部門は、新元号にちなんだ製品の発売により大福類は前年売上を確保しましたが、季節商品や蒸しパン類等が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。6月から串団子の消費期限延長に取り組んだほか、既存のロングライフ製品を積極的に拡販するなど売上の回復に努めました。洋菓子部門は、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移するとともに、マフィンなどのスナックケーキ類が回復し、前年同期の売上を上回りました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの弁当や寿司、コンビニエンスストア向けのサンドイッチを積極的に拡販し、順調な売上となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,255百万円(対前年同期比101.5%)となりましたが、人件費やエネルギーコスト増加に加えデリカ工場における減価償却費の負担増もあり営業利益は8百万円(対前年同期比18.4%)、経常利益は15百万円(対前年同期比30.4%)、四半期純利益は3百万円(対前年同期比12.6%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は14,869百万円で前事業年度末に対し311百万円増加しました。流動資産は4,888百万円で主に現金及び預金が453百万円増加し、売掛金が115百万円減少した結果、前事業年度末に対し380百万円増加しました。固定資産は9,980百万円で主に有形固定資産が59百万円、投資その他の資産のうち投資有価証券が18百万円減少した結果、前事業年度末に対し69百万円の減少となりました。負債合計は10,410百万円で主に支払手形及び買掛金が108百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が247百万円増加した結果、前事業年度末に対し355百万円増加しました。純資産合計は4,458百万円で主に利益剰余金が27百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円減少した結果、前事業年度末に対し43百万円減少しました。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は30.0%、1株当たりの純資産は2,129円14銭となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得の改善傾向が続き、景気の回復基調が期待されますが、本年10月の消費税率上げを控え、消費マインドが低下しお客様の生活防衛意識はさらに高まることが予測されます。当業界におきましては、人手不足に伴う人件費・物流コストの増加やエネルギーコスト、原材料費の高止まりといった厳しい経営状況が継続するものと思われまます。

このような情勢下におきまして、当社は、引き続き「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とする主力製品の品質の向上を進めるとともに、多様化するニーズを捉えた付加価値の高い新製品開発を業態別、チェーン別に積極的に推し進めてまいります。パン・菓子部門におきましては、付加価値を高めた製品の開発や、製品の品質向上と消費期限延長をはかり拡販に努めるとともに、魅力ある製品の情報発信を継続して売上向上に注力してまいります。さらに北海道産原料を活用した製品、ロングライフ製品やチルド製品を開発し、未取引の販売先や新たなチャネル・市場の開拓を推し進めてまいります。調理パン・米飯類におきましては、高品質な製品の効率的な生産に努めるとともに、ライフスタイルが多様化する市場環境において拡大が見込まれる中食需要に応える製品群を開発し、売上向上をめざしてまいります。今後とも生産・販売一体となり市場動向に即応した製品施策と営業戦略を展開しつつ、迅速な製品開発体制により新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、山積する経営課題に着実に対処し、全社を挙げて業務効率化を推し進めてコスト削減に努め、収益体質の抜本的な改善をはかってまいります。

なお、2020年3月期通期に関する業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,723,040	2,176,896
受取手形及び売掛金	2,400,213	2,284,227
商品及び製品	42,124	141,299
仕掛品	22,874	29,352
原材料及び貯蔵品	193,704	191,897
その他	126,544	65,130
貸倒引当金	△490	△233
流動資産合計	4,508,010	4,888,569
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,670,928	2,640,908
機械及び装置(純額)	1,597,467	1,561,918
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	239,008	244,730
有形固定資産合計	9,169,810	9,109,962
無形固定資産		
その他	61,933	61,876
無形固定資産合計	61,933	61,876
投資その他の資産		
投資有価証券	536,338	518,290
投資不動産(純額)	66,480	66,480
繰延税金資産	172,092	169,609
その他	43,969	55,102
貸倒引当金	△720	△719
投資その他の資産合計	818,161	808,764
固定資産合計	10,049,904	9,980,604
資産合計	14,557,915	14,869,173

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,025,269	2,133,956
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	811,112	815,636
未払法人税等	33,781	13,428
賞与引当金	176,682	98,870
その他	1,030,789	1,152,831
流動負債合計	4,827,634	4,964,723
固定負債		
長期借入金	2,362,148	2,605,014
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,601,275	1,576,778
役員退職慰労引当金	69,516	69,222
その他	4,430	4,430
固定負債合計	5,227,949	5,446,024
負債合計	10,055,583	10,410,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	588,898	561,042
自己株式	△13,332	△13,342
株主資本合計	1,627,539	1,599,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	180,451	164,411
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,874,791	2,858,752
純資産合計	4,502,331	4,458,425
負債純資産合計	14,557,915	14,869,173

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,192,612	4,255,054
売上原価	2,954,935	3,064,636
売上総利益	1,237,676	1,190,418
販売費及び一般管理費		
販売費	989,308	990,742
一般管理費	204,374	191,578
販売費及び一般管理費合計	1,193,683	1,182,321
営業利益	43,993	8,096
営業外収益		
受取配当金	7,992	8,567
受取賃貸料	2,748	2,724
その他	3,511	3,496
営業外収益合計	14,252	14,788
営業外費用		
支払利息	7,900	7,575
その他	52	0
営業外費用合計	7,953	7,575
経常利益	50,292	15,310
特別利益		
固定資産売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産売却損	-	1,131
固定資産除却損	1,572	1,311
特別損失合計	1,572	2,442
税引前四半期純利益	48,721	12,867
法人税等	20,454	9,313
四半期純利益	28,266	3,553

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。